

## 第1章

## 企業活動

IT パスポート試験に合格するにあたって、コンピュータなどのテクノロジー系の知識だけではなく、企業活動や経営戦略、システム戦略、財務、法務などの経営全般に関する基本的な考え方を理解する必要があります。この章では企業活動について解説します。

## 1 企業運営の枠組み

### (1) 企業活動と経営理念

企業が自社の商品やサービスを顧客に提供し、その対価としてお金を稼ぐための日々の活動のことを**企業活動**といいます。それぞれの企業が活動する際の指針となる最も基本的で大切な考え方のことを**経営理念**といいます。経営理念は「なぜ企業が存在するのか」、「何のために企業活動を行うのか」などの企業が目指す理想や価値観を定めます。

### (2) ビジョンと経営戦略

企業を運営するうえで経営理念は重要ですが、それだけでは企業運営はできません。経営理念に基づいて活動を行う際には、経営理念をもとにした**ビジョン**と**経営戦略**が必要になります。ビジョンとは「**企業が目指す将来の姿**」のことで、経営戦略とは「**ビジョンを実現するための具体的な方法を示した行動計画**」です。

ビジョンは、ある種の目標地点です。それを具体的にどうやって達成すればよいか、どのようなステップを踏めばよいか、どのようなリソースをどう配分するかといった具体的な方策が経営戦略になります。つまり、**ビジョンが目的地であれば、経営戦略はその目的地に至るための地図**と言えます。

#### <その他の関連用語>

##### ◆ **MVV（ミッション、ビジョン、バリュー）**

企業の基本的な方向性を示す3つの要素。ミッションは企業の使命や存在意義、ビジョンは企業が目指す将来の姿、バリューは企業が大切にしている価値観を表す。

##### ◆ **人的資本経営**

人材を「資本」として捉え、その価値を最大限に引き出すことで企業価値の向上を図る経営手法。従業員のスキルや知識、経験などを投資の対象として考える。

##### ◆ **パーパス経営**

企業の存在意義や社会的な目的（パーパス）を明確にし、それを軸とした経営を行うこと。利益追求だけでなく、社会に対してどのような価値を提供するかを重視する。